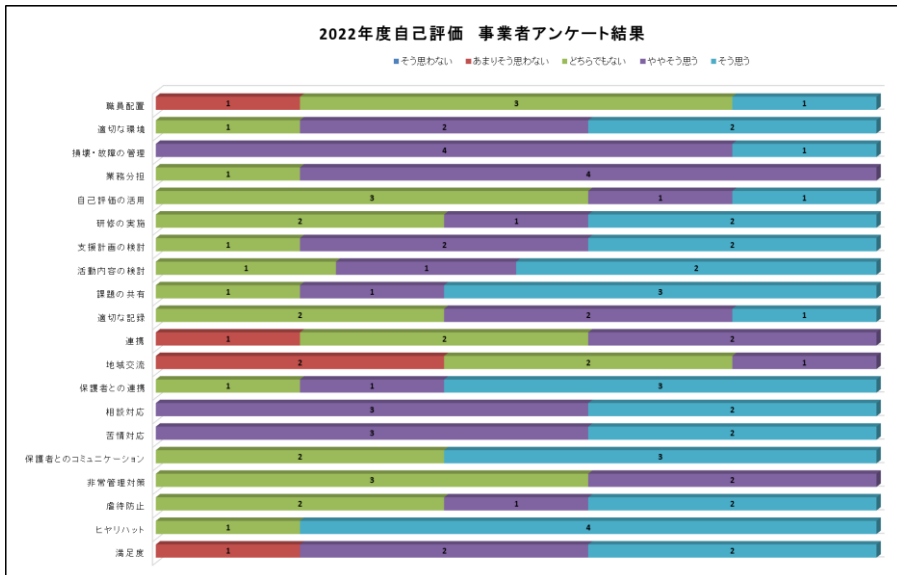


2022年度 事業者向け  
放課後等デイサービス評価表アンケート集計結果

事業所名	わんぱくクラブ駒沢	職員数	10人
アンケート実施期間	2022/12/15～ 2023/1/27	回答数	5人
		回答率	50.0%
形式	Google フォームでの入力		

		チェック項目	評価				
			そう思わない	あまりそう思わない	どちらでもない	ややそう思う	そう思う
環境・体制整備	1	職員配置 職員・スタッフの配置数は適切であるか また、スタッフ体制の強化は適切にできているか		1	3		1
	2	適切な環境 活動する場所が、清潔で、心地よく過ごせる環境か 利用者や施設の状況に応じて、室内の環境整備や備品の購入はできているか			1	2	2
	3	損壊・故障の管理 利用者にとって危険がともなうような施設や備品の損壊・故障などをチェックし、事故を予防しているか				4	1
業務改善	4	業務分担 各職員の業務内容について共有できているか また役割分担は適切か			1	4	
	5	自己評価の活用 自己評価表等を活用して保護者の意向等を把握し、業務改善できているか			3	1	1
	6	研修の実施 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか また研修について情報共有できているか			2	1	2
適切な支援の提供	7	支援計画の検討 利用者と保護者の情報(個別支援計画等)をスタッフ全体で共有・検討する場を確保できているか また、共有するためのツールを活用しているか			1	2	2
	8	活動内容の検討 利用者や保育体制に合った活動を実施できているか また、そのための打ち合わせや検討の場を設けているか			1	1	2
	9	課題の共有 支援終了後の終礼などで出てきた課題・問題点について、共有・改善できているか			1	1	3
	10	適切な記録 支援の検証・改善につながるように正確に記録しているか(記録様式のバージョンアップなども含む) また、モニタリングや個別支援計画作成を定期的に行っているか			2	2	1
関係機関との連携	11	連携 行政担当者や幼稚園・保育園・学校・就労先、障害児相談支援事業所の担当者等と連携しているか また連携(ケア会議など)の内容について職員間で共有できているか		1	2	2	
	12	地域交流 関係機関や地域との交流(会議や催し物への参加)を積極的に行っているか また、交流の機会を企画しているか		2	2	1	
保護者への説明責任等	13	保護者との連携 日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の発達の状況や課題について共通理解を持っているか			1	1	3
	14	相談対応 保護者から、利用者に関する悩み等の相談があった時は、適切に対応し、情報提供を行っているか				3	2
	15	苦情対応 利用者や保護者から苦情があった場合に、迅速かつ適切に対応しているか				3	2
非常時等の対応	16	保護者とのコミュニケーション 保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか(連絡方法の工夫、ツールの活用、おたよりの発行、保護者会の定期的な実施など)			2		3
	17	非常管理対策 火災や地震、感染症などの対策(マニュアル整備、職員や保護者への周知)がなされているか また、非常災害の発生に備え、定期的に避難等の訓練を行っているか			3	2	
	18	虐待防止 虐待防止、身体拘束に関して、職員の研修機会を確保、直接現場での指導・フォローなど適切な対応ができているか			2	1	2
	19	ヒヤリハット ヒヤリハット事例集を日常的に作成し、事業所内で共有しているか			1		4
その他	20	満足度 現施設での勤務に満足しているか		1		2	2



改善した点	トイレなど不具合(故障)設備の改善 おやつ提供や帰宅便の実施
今後改善すべき点	既に取り組んではいるが、アルバイトスタッフの充実。 人員の補充
不安に感じる点	保護者の要望とわんぱくの理念に多少のずれも感じる。 双方が、納得できるような話し合いなどの場が増えるといいと感じる。
その他	

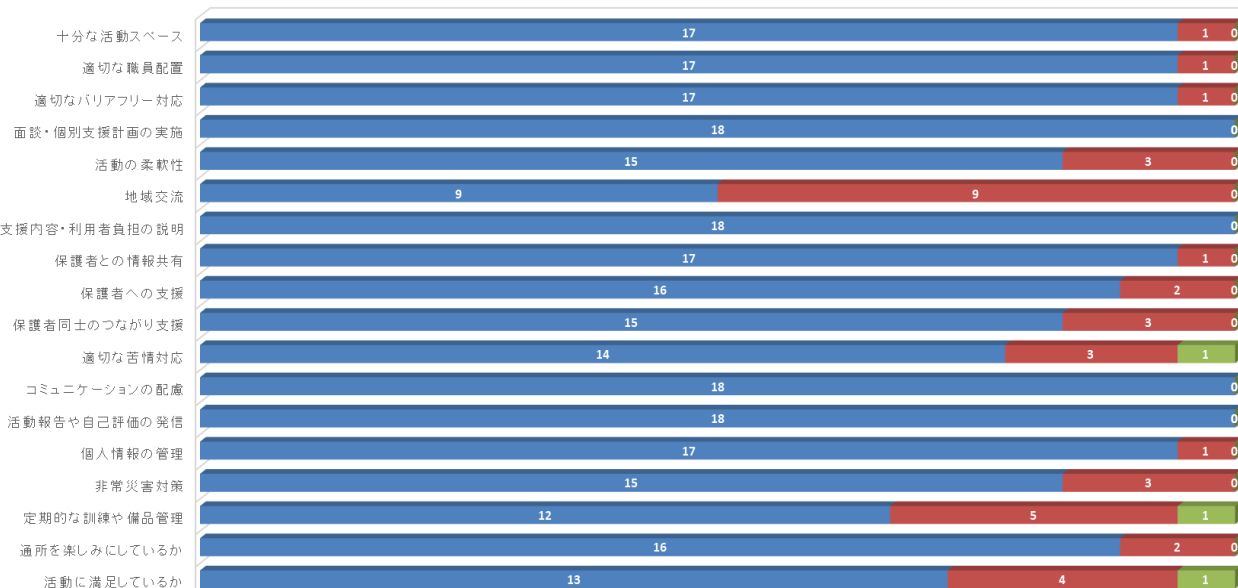
2022年度 保護者向け  
放課後等デイサービス評価表アンケート集計結果

事業所名	わんぱくクラブ駒沢	世帯数	29世帯
アンケート実施期間	2022/12/15～	回答数	18世帯
	2023/1/27	回答率	62.1%
形式	Google フォームでの入力		

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	無回答	課題、工夫している点など
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1	0		園庭もあり恵まれている。園庭があるので外遊びがすぐできる。別室もあり子どもの特性によりクールダウンにも活用されている。広々しています。
	2 職員の配置人数は適切か	17	1	0		重度の子が多く国の基準では安全が保障されない為、厳しい経営状況やコロナ禍で世の中の労働参加率が低下している中、人員配置に苦労している。
	3 スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	1	0		
適切な支援の提供	4 保護者との面談を通して子どもの育ちの状況を確認、個別支援計画が半年に1回は見直し、作成されているか	18	0	0		
	5 活動内容が固定化しないよう工夫されているか	15	3	0		コロナ禍ゆえ、全て様子を把握できない為。長く通っていても常に新しい遊びが工夫、提案されている。いつも楽しく過ごさせていただいています。
	6 地域との交流があるか	9	9	0		
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	1	0		毎回1人1人の活動記録が管理され、定期的に保護者に開示されている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2	0		わんぱくの相談支援もあるので、育児に関する助言等はそちらがメインなのかなと思います。
保護者への説明等	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士のつながりづくりを支援しているか	15	3	0		定期的に保護者懇談会があり、意見の交換ができていると思う。
	11 苦情があった場合は、適切に対応し、改善策を速やかに伝えているか	14	3	1		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動内容などの情報や業務に関する自己評価の結果を発信しているか	18	0	0		
	14 個人情報に十分注意しているか	17	1	0		
非常時等の対応	15 火災や地震、感染症などの対策がなされているか	15	3	0		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練や備品管理をしているか	12	5	1		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16	2	0		季節ごとのイベントや遊びを大切にした運営をしてくださり、子どもが毎回「楽しかった」と帰宅するので嬉しいです。とても楽しみにしています。
	18 活動に満足しているか	13	4	1		夏はプールと水遊びをたくさん実施し、秋は土を触って芋掘りや落ち葉のシャワーなどの自然に親しむ体験をさせてくださり、いつも本当にありがとうございます。コロナ前は今より色々な活動があったと聞いているので、活動が再開できればいいなと思います。コロナで外出など自粛していた活動を再開してほしい。施設外の活動を増やして欲しい。外出や宿泊など。

2022年度自己評価 保護者アンケート結果

■はい ■わからない ■いいえ ■無回答



2022年度自己評価

事業所名	わんぱくクラブ駒沢	世帯数	29世帯	職員数	10人
アンケート実施期間	2022/12/15～ 2023/1/27	回答数	18世帯	回答数	5人
		回答率	62.1%	回答率	50.0%

	工夫している点	課題	改善目標
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>靴箱や荷物置きは、あえて場所を固定しないことで、子ども達が主体的に選べる環境を整えている。</li> <li>園庭にすぐに出入れる環境を整えている。</li> <li>カムダウンルームを設け、パニック等の非常時に使用している。</li> <li>スタッフ年齢層は、20代～60代。様々な年齢のスタッフを配置することで、多様な関わりができる環境にある。日々の子ども・スタッフの割合を、2:1以上にし、手厚い支援体制を敷いている。</li> <li>その日來所する子どもによって、遊具の配置を変えて、遊びやすい環境をつくるよう努めている。</li> <li>室内でも体を動かして遊べるよう、マットやトランポリンなど、大型の遊具を設置している。</li> </ul> <p>&lt;今年度の取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遊具の数や種類、置き場所の工夫を行い、遊びが発展するように、また、子ども達が自分で片付けをしやすいようにした。</li> <li>更衣室のフロアマットの張替、和室扉の新調など、環境を整えた。</li> <li>常勤を6名体制とし、安定的な人員配置を敷いた。</li> <li>おやつをB室(奥の部屋)ではなく、ホールで食べることに変更した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者受け入れ拡大を可能とするための人員の確保が十分にできていない。</li> <li>遊びがその場限りになりがち。継続性のある遊び、活動づくりをしたい。また、遊びの中身が固定化しないよう、遊具を活かした遊びを展開する力を職員が身に付け、日々目的をもって実践していく必要がある。</li> <li>別室に保管している遊具数が多く、十分に使いきれていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>採用活動は、法人内の運営組織と連携して進める。職員体制と連動する形で、通所曜日を増やしたい家庭のニーズに応える。</li> <li>打ち合わせ時に、その時々プールの遊びを職員間で確認し、その日の遊びの計画の中に入れる。</li> <li>多種多様な遊具を選定し、保育環境に設置する。別室に保管する遊具を整理し、いつでも取り出しやすい環境をつくる。</li> </ul>
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育後に、当日の振り返り会議(終礼)と、個人記録の記入時間を30分程度設け、スタッフ全体で当日の保育を総括したり、課題解決の検討を行ったりしている。</li> <li>常勤職員で課題について共有し、改善策を考え、実行している。</li> <li>週頭に職員会議(週のまとめ)を行い、前週の保育の振り返りを行っている。</li> </ul> <p>&lt;今年度の取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>月の目標と、月のまとめを検討する時間を設けた。</li> <li>細かい情報が、見て分かるよう、事務所内の掲示を工夫した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育時間に対して実務時間が少ないため、実務が遅れたり、残業に繋がっている。</li> <li>常勤担当の学習会を計画したが、日々の業務に追われ、実行できなかった。</li> <li>月の目標とまとめは、十分に検討できなかった月があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポーターズカレッジの視聴や、障害福祉関連の書籍や雑誌記事をもとに検討する日を計画的に定め、担当を決めた上で実行していく。</li> <li>月のまとめは、ベースを作成する担当者を決める。</li> </ul>
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>終礼を、活動報告だけに留まらず、支援の方向性や課題を検討する場になっている。</li> <li>表面的な行動面だけに着目した対応ではなく、背景にある児童の心の揺れ動きを捉えることを大事にしている。</li> <li>感染防止対策として、来所時の検温・手指消毒・マスク着用の奨励を行っている。</li> <li>代替的サービスを実施した。動画やオンラインでの支援を行い、特に感染拡大時期に児童とつながりを持てるよう配慮した。</li> </ul> <p>&lt;今年度の取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おやつ提供を1月から再開した。</li> <li>支援計画を全体で共有し、意見交換する場を設けた。</li> <li>相談支援職員が終礼に参加した際は、個々の利用者にはスポットをあて、情報共有を行った。</li> <li>外部研修に参加し、専門的知識をつけるよう努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代替的サービスは、感染の縮小と、陽性者発生時の行政の対応の変更などにより、件数は減っている。</li> <li>地域交流はコロナ禍の影響で引き続き行っていない。</li> <li>人員不足により、公園外出の機会が減っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通所の実践に主軸を切り替える(感染状況によっては見直し)。</li> <li>遊びや発達など、基礎的な内容を含めた学習会を開催する。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後連東京定例会に、非定期だが参加している。</li> <li>保護者へは、お迎え時や連絡帳を通して、当日の様子を伝えていく。また、家庭や学校での様子を記入いただき、情報を共有している。</li> <li>月が終わった後に、その月の個人記録集を配り、保護者と情報共有している。</li> <li>おたよりを毎月1回発行し、実践の中身を伝えるようにしている。</li> </ul> <p>&lt;今年度の取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長期休みには、児童の担当教員の見学を受け入れた。</li> <li>個別児童の支援会議に複数回参加した。</li> <li>自立支援協議会はほとんど参加できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業、連絡会議などが少なく、学校とのコミュニケーションが十分でない。</li> <li>年度後半は、おたよりの発行の遅れが目立つようになってきた。取り上げられる子の偏りがあった。</li> <li>自立支援協議会は、高齢障害者や精神障害者をテーマに扱うことが多く、児童としての参加がしづらい。また、保育の時間帯に被るため、参加できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援会議、連絡会議には積極的に参加する。</li> <li>おたよりの発行メット日を設定し、進捗状況を確認する。</li> <li>全ての子どもにスポットがあたるよう、記事の内容に留意する。</li> </ul>
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情内容の確認は即日に行い、職員間で共有している。</li> <li>事故が生じた際は、法人で定めたマニュアルに則り、速やかに保護者に連絡し、状況報告を行う。</li> <li>新規利用者については、契約開始時に、利用料金や、放デイの仕組み等について説明している。</li> </ul> <p>&lt;今年度の取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会を2度開催した。交流・レクリエーション・意見交換の時間となった。</li> <li>通院を必要としたケースには職員が付き添い、事故状況等を説明した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育後の車両運行について、増便を希望する意見があったが、現状は応えられていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人内の運営組織と連携し、車両運行の方向性を定め、周知する。</li> </ul>
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>入会時や定期的に行うアレルギー・てんかん調査表に基づき、非常時の対応について把握している。</li> <li>災害備蓄品を置いている。定期的に点検し、年間で予算を決めて購入している。</li> <li>避難経路図を作成し、室内に掲示している。</li> <li>法人内で作成した、「事故等緊急連絡網」「緊急時医療関係連絡先」を掲示している。</li> </ul> <p>&lt;今年度の取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害伝言ダイヤルの練習を年3回実施した。</li> <li>災害備品の点検を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練の計画と実施が十分に行えなかった。</li> <li>外部からの侵入に対する措置が甘い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯カメラの設置を検討する。</li> </ul>